

ふるさと納税活用業務 (予算額 113,619千円)		経済振興部商工労政課 にぎわい創生係(23 - 6210)
財源内訳	一般財源 113,619千円	
支出内訳	7款1項2目 商工振興費 / 特別旅費 5千円、印刷製本費 528千円、通信運搬費 3,727千円、口座振替手数料 3千円、広告料 2,310千円、ふるさと納税活用支援委託料 107,046千円	

ふるさと納税制度の活用により、寄附者に対する返礼品の贈呈などを通じて本市の魅力を全国に発信することで、地元産業・経済の活性化を図る。



ポータルサイトの活用

集客力の高いポータルサイトを活用し、多くの寄附を集める。

ポータルサイト名	開始時期
ふるさとチョイス	平成27年4月
さとふる	令和元年11月
ふるなび	令和2年3月
楽天ふるさと納税	令和2年4月
新規ポータルサイト	令和4年(予定)

魅力ある返礼品の発掘・提供

地元事業者と連携し、様々な地場産品を返礼品に加えることで、本市の新しい魅力を発信する。



各種広告・PR

各種広告を活用して、本市ふるさと納税の魅力を全国にPRする。

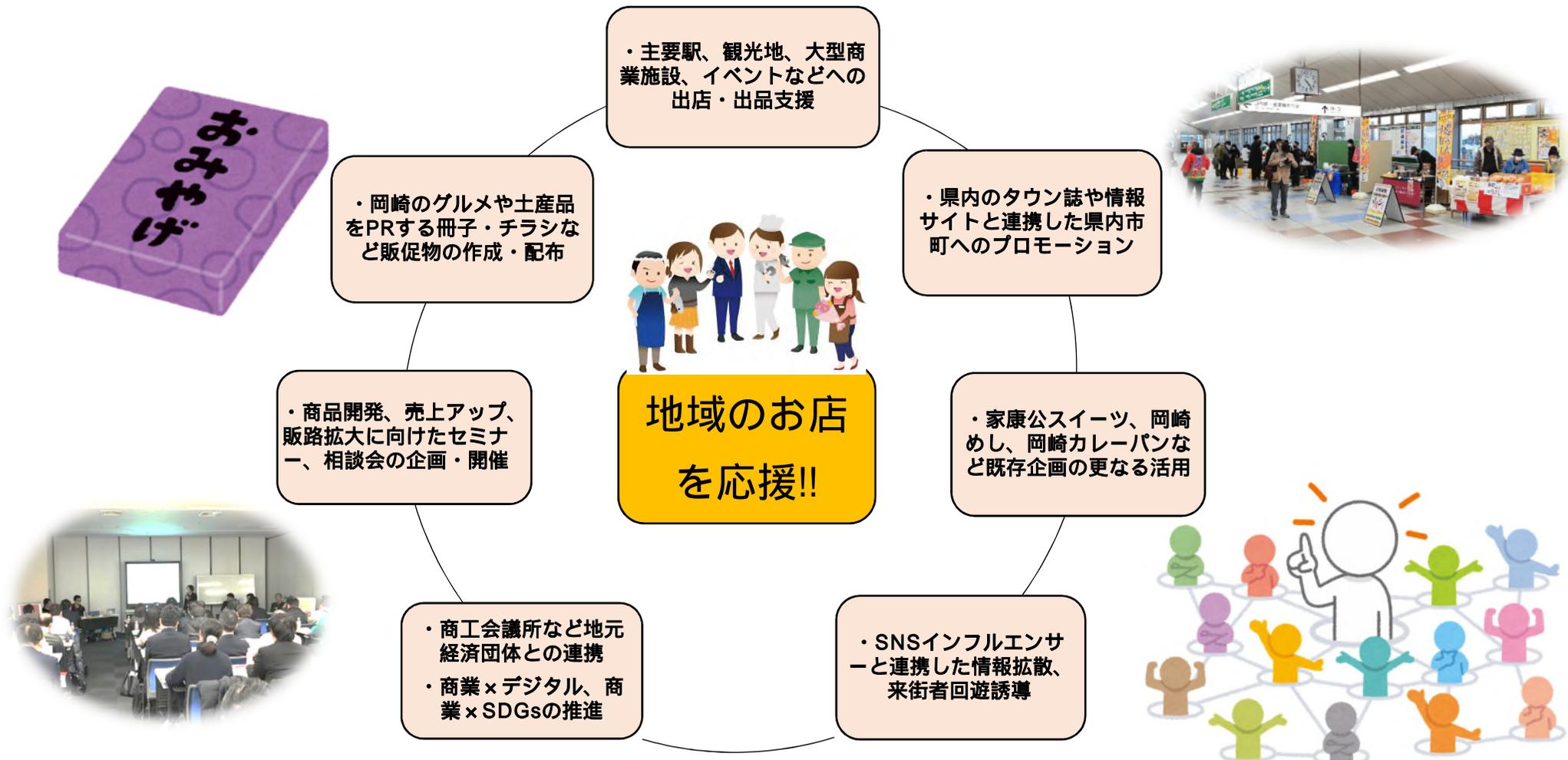
WEB 広告

ポータルサイト内広告

大河ドラマを機に本市を訪れる観光客へのPR

拡充	地域経済再生・活性化支援業務 (予算額 33,000千円)	経済振興部商工労政課 にぎわい創生係 (23 - 6503)
財源内訳	一般財源 33,000千円	
支出内訳	7款1項2目 商工振興費 / 地域個店支援事業費負担金 33,000千円	

大河ドラマ「どうする家康」の放送を商機ととらえる店舗を広く募集・登録する新たな制度を創設します。加えて、登録店舗へのきめ細かな支援策を通して、大河ドラマの経済効果を市全域に拡大・拡散し、店舗の売上げ向上と地域経済の活性化を図ります。



観光イベント推進業務 (予算額 235,410千円)		経済振興部観光推進課 観光イベント推進係 (23 - 6211)・家康公係 (23 - 6978)
財源内訳	一般財源 235,410千円	
支出内訳	7款1項6目 観光費 / 特別旅費 122千円、観光事業委託料 204,689千円、花火大会煙火打上委託料 27,599千円、 泰平の祈り実行委員会負担金 2,000千円、福山祭負担金 1,000千円	

本市ならではの観光資源を活用した魅力的なイベントを開催し、市内外からの観光客の誘致拡大を図ります。

春

4月



桜まつり / 本市の春の風物詩。ライトアップされた約 800 本の夜桜は東海随一の美しさを誇ります。

家康行列 / 大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に、イメージアップを図るため、家康公役には若い方を起用します。



秋

11月

将棋まつり / 本市の将棋まつりでしか見られないトップ棋士による夢の対局をお届けします。



泰平の祈り / 実行委員会が主体となり、公民連携で継続実施できるよう仕組みづくりを整えながら事業を実施してまいります。



夏

8月

夏まつり・花火大会 / 三河花火の粋を集めた全国屈指の花火大会。岡崎城を背景とするロケーションに、メロディースターメイン、金魚花火、銀滝、大のし、仕掛け花火など、バラエティに富んだ花火を打ち上げます。



観光プロモーション推進業務(予算額 39,427千円) 観光おもてなし環境整備業務(予算額 12,525千円)		経済振興部観光推進課 家康公係(23 - 6978)
財源内訳	国庫支出金 10,395千円、一般財源 41,557千円	
支出内訳	7款1項6目 観光費 / 観光プロモーション推進業務:特別旅費 104千円、消耗品費 693千円、観光プロモーション推進委託料 18,480千円、 観光宣伝委託料 19,140千円、家康公顕彰事業参加負担金 1,010千円、 観光おもてなし環境整備業務:特別旅費 37千円、誘客促進委託料 9,988千円、 おもてなしキャラバン隊派遣委託料 1,430千円、観光おもてなし人材養成委託料 990千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 80千円	

主な事業の概要

～観光プロモーション推進業務～

【家康公プロモーション推進】

「家康公生誕の地」とともに
 「若き家康公」をプロモーションする。



【鉄道事業者タイアップ】

鉄道を利用した市内観光の
 誘客を図る。



～観光おもてなし環境整備業務～

【着地型観光商品の企画販売】

岡崎ならではのバスツアー等の
 企画販売等を行う。



【観光おもてなし人材養成】

大河ドラマ放送に向け、歴
 史かたり人等の養成を行う。



「どうする家康」活用推進業務(予算額 334,297千円)		経済振興部「どうする家康」 活用推進室(23 - 6978)
財源内訳	国庫支出金 4,400千円、繰入金 40,000千円、諸収入 40,000千円、一般財源 249,897千円	
支出内訳	7款1項6目 観光費 / 特別旅費 1,542千円、消耗品費 12,475千円、印刷製本費 13,750千円、大河ドラマ活用委託料 43,780千円、会場使用料 278千円、 有料道路通行料 103千円、施設整備工事請負費 165,000千円、岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会負担金 89,667千円、 愛知県大河ドラマ「どうする家康」観光推進協議会負担金 2,000千円、地域活性化企業人負担金 5,600千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 102千円	

2023年1月放送開始予定の大河ドラマ「どうする家康」を契機とした事業を展開し、
岡崎への誘客による消費拡大・経済活性化のほか、知名度向上、歴史の再認識、市民の皆様の機運醸成を図ります。

大河ドラマ館の設置



大河ドラマ館内イメージ

おもてなし施設(便益施設)の設置



売店(土産店)、観光案内所内イメージ

岡崎公園内に設置

公民連携組織

「岡崎市徳川家康公顕彰推進協議会」
 様々な公民連携事業を進めていきます。



もっと岡崎、
 きっと家康

協議会ロゴマーク、キャッチコピー

家康公生誕の地、若き家康公が過ごした地を全国に発信
 していきます。